

消費者と提携し地域農業を守る

# 下郷農協



2015

5

No. 645

May



新緑の耶馬溪で

下郷製茶組合長 原さんと茶摘みを楽しむ  
「下郷有機農業産直の会」「産直土の会」の皆様  
(5月10日)

# 「安倍政権の暴走」は

## 必ず阻止される

代表理事組合長 矢崎 和廣



### 戦争に突き進む

#### 安倍政権の暴走

安倍政権は、戦争法案（表向き「平和安全法制」と呼んでいる）を閣議決定し、夏までに法案を通す構えです。

日本は七十年間、色々と動きはある中でも平和憲法でやってきました。

自民党政権下ですら維持されてきた「海外で戦争しない」という原則、自衛隊の活動に厳しい制約を課すことで自衛隊を合

### 多くの地方紙が反対

地域では「安倍政権の暴走」に対し、いよいよ怒りが増えています。

この戦争に突き進もうとする戦争法案以外にも、国の形を変えるかもしれないTPP参加問題、原発再稼働、農協改革など安倍政権のくらし破壊に対して、今まで中央と同じ立場だった地方紙の、実に四十一紙が集団的自衛権の行使に「反対」し、法案の閣議決定後も厳しい批判や社説が次々と出されています。

この事は、沖縄県名護市辺野古への米軍新基地建設に反対したオール沖縄の行動に見られるように、選挙を勝利に導くとともにその運動は今まさにオールジャパンにまで広がりがつつあり、多くの地域から「子や孫を戦争に送る」戦争法案阻止の運動で必ずや法案の阻止が実現できる

ものと思います。

### 「非核・平和宣言の農協」

下郷農協は、本所・食肉工場にひととき大きく「非核・平和宣言の農協」の看板を掲げています。

核兵器の廃絶を訴え、核戦争の危機のなかで組合員の生命と財産を守ることを使命とすることは基より、下郷農協が「安心・安全」な農畜産物を消費者の皆様にお届けしている原点は「命」を大切にすることであり、その前提は平和でなければそれが叶わないという事だと思えます。

戦争へと進もうとする事態は断じて阻止しなければならず、農協もしっかりと法案阻止に取り組むとともに、引き続きTPP阻止、農協改革反対の運動も取り組んで参ります。

多くの皆様のご理解とご協力、団結をお願いいたします。

# 乳牛が導入されて六十年

## 鎌城地区で家畜生産者が畜魂祭

四月二十四日、鎌城地区畜魂碑前で、家畜生産者や関係者が集まり畜魂祭が行われました。

鎌城地区に乳牛が導入されて今年で六十年、人々が動物性タンパク質を摂取するために家畜を屠畜して食べますが、畜産業に携わる人々が御霊に感謝するとともに、飼育での出産事故や夏の猛暑等での死亡事故が起らないよう祈願する式典として、

鎌城酪農部が昭和五十七年から始め、関係者に呼び掛けて毎年この日に行われています。

式典では、今年代表を務める山崎和美さんが、「鎮魂碑の裏には、岡山から六頭と地元から一頭の乳牛を導入し七戸の酪農家が飼育を始めた事や、昭和五十七年当時、乳牛五四〇頭・和牛一一三頭・豚六〇〇頭・鶏一五〇〇羽を飼育していた事が記されています。現在の畜産環境も厳しいですが、これからも安心・安全な農畜産物を求める消費者に農家民泊や搾乳体験等を通じた交流で、生産現場への理解も深めてもらえるように取り組みましょう。」とあいさつ、続いて出席者全員で黙とう、来賓として下郷組合長らがあいさつ、役員が鎮魂碑の乳牛像に新たな紅白のタツ（頭絡）を着けた後、お清めをして鎮魂祭を終了しました

(f)



# 女性部としてみんなで考え、行動しましょう

## 女性部総会 開催

五月十六日、農協会議室にて下郷農協女性部（部長・三上あけみ・部員二十九名）の総会が開催されました。当日は部員二十一名が参加し、来賓として農協松本参事・三上市議会議員に来ていただきました。

まず三上女性部長より挨拶と活動のまとめを報告。二〇一四年度の女性部活動は「女性部OBとの交流会」や「中央会主催行事（良い食を考えるフォーラム）への参加」、「別府パストラルでの部員懇親会」など新たな取り組みを行い、部員からも『楽しかった。また取り組みたい。』との声があがったことを報告しました。『農協も信用事業を譲渡し、モノを売る事がますます大切ですが、女性部として何が出来るとか、新年度はみんなではないか、』と述べられました。



『考え行動しましょう。』と呼びかけました。

続いて松本参事より情勢・農協の決算状況・信用譲渡などの話をしていただきました。話の中で『生産の落ち込みや農協労働者の減があり、各生産組織や労働者が元気になるような取り組みが必要だと感じている。女性部は活発に活動が出来るように行って元気づけてもらいたい。』と述べられました。

また三上市議会議員より選挙のお礼と、中津市の現状や憲法改悪（戦争立法）について話をしていたいただきました。中津市も田舎になるほど過疎化が進み『地方を盛り上げるための取組が必要。そのため頑張り』と決意の言葉を述べられました。『憲法改悪については『過去に耶馬溪町内で四二九名の方が戦争で亡くなっている。戦争で亡くなる事が無いような国にしなければならぬ。』と呼びかけました。』

総会は議長として石川貴美子さんを選出し、①二〇一四年度活動報告・収支報告 ②二〇一五年度活動計画（案）収支予算（案）③日当について各議案が執行部より提案され、満場一致で承認されました。総会終了後に女性部員でもある中津市議会議員の荒木ひろ子さんと川内八千代さんより挨拶と報告をしていただきました。最後に運動を控えて終了しました。

(T)

## 産直大地の会久留米の 班責任者会議が開催されました

五月十日(日)、エールピア久留米にて大地の会久留米・班責任者会議が開催されました。当日は農協より矢崎組合長・野菜生産者の溝渕朝江さん・指導販売部立花の三名で伺いました。今回の会議の中で一番の関心事として黒豚の値上げと斡旋白豚の取扱があり、その事については矢崎組合長のあいさつの中で経過および畜産を取り巻く状況を説明し、ご理解いただきました。

今回の班責任者会議への参加は各班より十二名ほど参加されていましたが、「商品アイテムが少ない。下郷でしか手に入らないものが無い」「豚の値上げは仕方がないと思うが、白豚では下郷らしさが薄れると思う」「豆腐の規格を小さくしてほしい」「産直利用を増やす事は難しい。若い人は食に対して関心はあるが生活に余裕が無く、また共同購入での利用はしたくないようだ」「新しく取り扱う商品は文書だけではなくて商品画像も欲しい」「産直に関しての関心が薄れているのではないか。」「学習会や文書での啓蒙活動が必要。会自体の努力が足りない。」「」など、多くのご意見が寄せられました。

農協への要望や質問、会の運営、野菜の要望・質問など、いただいたご意見を参考にして今後の取組に活かしたいと思いません。

(立花)

大地の会代表 緒方忠臣さん



## 『新緑の下郷・耶馬溪へようこそ』 北九州の消費者と生産者交流

五月十日は「産直の会」「土の会」の方が下郷製茶組合の茶畑で茶摘みを行いました。茶摘み体験では原組合長より茶葉の摘み方を説明してもらった後、早速茶摘みを行いました。初めて茶摘みをする方もいましたが、短い時間で一キ以上摘んだ方もおられてみなさん楽しく茶摘みができたのではないのでしょうか。摘んだ茶葉は加工してもらい、出来上がったら飲むのを楽しみにしています。

昼食は、『土の会』は樋山路にある農家食堂『つうだらだつた』で、『産直の会』は内山・上の原公民館をお借りして会ご

とに美味しくいただきました。午後からは耶馬溪黒豚の生産者の石川さんの豚舎を見学しました。石川さん宅のフキの大きさにみんなビックリしていました。後日「とても美味しかったです」と連絡をいただきました。最後に農協の「ふれあいの店」で買い物をして解散しました。消費者のみなさん、それぞれに楽しい一日を過ごしていただいたようでした。製茶組合の原さん、黒豚部会の石川さん大変お忙しい中ありがとうございます。

(Y)





① みんなで、収穫スタートです。



④ 指導販売部の松岡さん。大きい玉ねぎ!! 今にも食べそうな感じ…



② 共済部の原口彰君!! (今年、農協に入りました。) 青女部にも入部。大きな玉ねぎにうれしそうです。



⑤ 夏野菜を植えるウネを作っています。教えているのは、信連窓口の依さん。まっすぐのウネを作るのはとても大変です。農家サンの日頃の作業を見てみたいです。



③ 新入職員の3人です。女の子が牛乳加工部勤務の新貝遥香さん・手前の男の子が惣菜加工部勤務の久保洋佑君。奥の男の子は原口君です。3人とても仲良しです。みんな青女部に仲間入り、これからたくさんのことを勉強していきます。



⑥ 新玉ねぎがこんなにたくさん収穫できました。昨年11月約800本の苗を植え、約5ヵ月…。草取り・追肥などいろいろ作業してきました。こんなにたくさんの玉ねぎができ、みんなで作業してきたかいがありました。青女部みんなで収穫の喜びを知りました。

清水先生の  
「食の安心」について  
一言 (118)

の記事は先生がご多忙のため  
お休みさせていただきます。

四月には、新入職員が三名、青女部に仲間入りをし、一緒に収穫作業をしました。ふれあいの店では、玉ねぎを一玉六十円で販売しています。野菜を作ったことのない職員たちですが自慢のお野菜が次々に登場していますよ。

十二月号の活動日記③と二月号の表紙でお知らせした玉ねぎ苗の植え付け作業から約五か月でたくさんのお新たまねぎの収穫ができました。



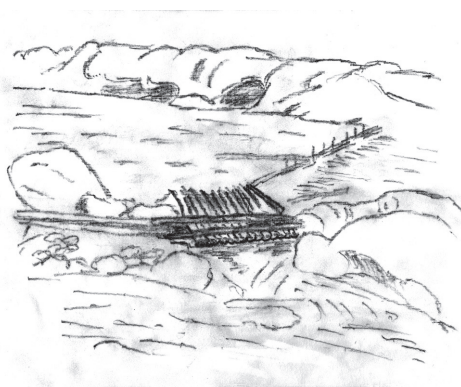
金吉・伊福の墓は後藤又兵衛基次の墓か（その二）

伊福の墓は「後藤又兵衛の墓ではない」と断言する論文（昭和四十六年発行）があります。

その論文の主旨は、「前領主細川忠興が肥後国に転出したあと、小笠原長次が播州龍野六万石から八万石に増されて中津に入ったのは寛永九年（一六三二）十二月であった。（中略）小笠原長次は寛永十五年（一六三八）の島原有馬の役では士卒二千五百人を率いて原城を攻撃したが、その戦功によって豊後国日田郡六万石を預けられた。（中略）島原の乱から十四年目の承応元年（一六五二）にかねてから争っていた、日田郡の鎌田村と出口村との事件が収拾つかないようになったために、ついにその裁断を幕府に仰ぐという事態になったのである。このために中津藩は、江戸屋敷でも国許の藩庁でも相当な混乱を起こした。ところが藩主の長次はこの事件に手を焼いたあげく、ついに預かっていた日田郡を幕府に返却してしまった。（中略）中津藩をゆるがしたこの承応元年の事件がどのような内容であったか私は知らない。そして、ここに又兵衛なる人物が

出現するのである。その又兵衛がおそらくは藩論を二分したであろうと想像されるこの事件で、どのような立場であり、どんな動きをしたのか、というようなこともわかっていない。しかし栄職にあった又兵衛は捕えられ、僻地の村に禁固された。（中略）その寂寥の底に孤独の思いにさいなまれながら居ること二年、ついに雪深い山里で自刃して果てた。ときに承応三年一月二十九日であった」というものです。

私は「この承応元年の事件がどのような内容であったか私は知らない」という著者に対し、少し無責任さを感じながらも、事件の概要を調べることにしました。するとその謎は『天瀬町史』によっ



築（イメージ深兵衛画）

てすぐに解きました。それは「梁（結漁）の占有権をめぐる争い」（川の中に木や竹で「すのこ状の台・梁」を設置し、上流から泳いできた魚がかかるのを待つ漁法）であって、「藩論を二分し、幕府に裁断を仰ぎ、小笠原長次が日田郡を幕府に返還した」とされるような事件ではありませんでした。さらに、①あれ？事件の年代が違う②えっ？小笠原中津藩が日田郡を預かったとされる年代も違う③ん？鎌田村ではなく「鎌手村」……。

まず①ですが『天瀬町史』は、この事件は「慶長二年（一五九七）春二月に起こった」としていますが、承応元年（一六五二）より約五十五年も前のことになりました。またその当時、日田郡を預かっていたのは「毛利氏」（佐伯藩）であり、事件の当事者らを隈城に集めて事を収めたとされています。次に②ですが、『日田市史』等も含めて日田地方の通説では、小笠原氏が日田郡を預かったのは寛永十年（一六三三）から寛永十六年（一六三九）までの約六年間とされているのです。そして③の村名ですが鎌田村ではなく「大山庄の鎌手村」と五馬庄の出口村との間に起こった争いでした。

以上の通り、伊福の墓が「後藤又兵衛の墓ではない」とするこの論文の説は、「あまりにも信ぴょう性に欠かける記述が多

い」という結論に至りました。ところで、この論文の説を検証したところにより中津側から見た郷土史料には、諸説あることがわかりました。『下毛郡誌』『中津市史』『中津藩の歴史』等の小笠原氏に関する記述は「この日田郡の鎌田村と出口村の事件をもとに小笠原長次が幕府に日田郡を返還した。長次は煩雑なことを好まない性格だった」とし、村名の間違ひ・事件の年代・幕府への返還理由等も全て同趣旨です。前述の論文もこれらの文献と同じ出典から引用した可能性が高いと思われる。また、『耶馬溪町史』も鎌手村と正確に記してはいますが、事件の年代・幕府への返還理由などは『下毛郡誌』等の説に準じています。

唯一『中津藩史料叢書・中津藩歴史と風土第十二輯』（中津市立小幡記念図書館）は、日田地方の通説と年代が一致し、日田郡の事件や幕府への返還理由などについて何も触れていませんでした。



行橋市歴史資料館提供・後藤又兵衛の槍（著者撮影）

# 理事会だより

四月二十八日、二〇一五年度第一回定例理事会を開催しましたので、議案および協議内容の一部概要をお知らせします。

## 報告事項：職員の入協・退職について

宮崎県綾町産豚肉の取り扱いについて  
その他

## 第一号議案：三月決算承認の件について

## 第二号議案：第六十七回通常総会の開催について

## 第三号議案：二〇一五年度余裕金運用について

## 第四号議案：二〇一五年度信用供与等の最高限度額

について

## 第五号議案：理事に対する貸付について

## 第六号議案：その他

・報告事項の職員の入協・退職については、新規採用職員および退職予定者について報告しました。  
また、宮崎県綾町産豚肉の取り扱いについては、耶馬溪黒豚の生産者減少に伴う一定期間の対応と  
つて、遺伝子組み換えをしないZNO-GM

〇飼料を与えて飼育された綾町産白豚肉の一部幹旋での取り扱いおよび、今後の黒豚肉生産者確保について、現状での報告を行いました。

・第一号議案の三月決算承認の件については各監査前の数値として、事業利益四、二三七千円の計画に対し超過達成の見込みとなりました。事業利益は計画対比で、収益部門のうち信用四〇、三〇〇千円・食肉六、七七千円・共済八九二千円・葬儀八三五千円等が達成、七、三〇七千円事業利益計上の牛乳一、一七五千円・販売五、八二五千円・惣菜四、〇八三千円・購買三、〇七三千円等が未達成となりました。

・第二号議案の第六十七回通常総会の開催については、六月二十八日（日曜日）午後一時三十分から下郷小学校体育館にて開催する事を決定、提出議案等について承認を受けました。

その他の事項では、二〇一五年度事業計画（数値）一部修正について、三月開催の集落常会組合員意見に対する回答について関係書類を配布し内容の確認を行いました。

## 【人事異動】

五月一日付

【牛乳加工部主任（工場長代理）】

中島真誠（牛乳加工部）

【指導販売部主任】

神谷俊之（指導販売部）

【指導販売部主任】

松岡昌士（指導販売部）

【食肉加工部】

中島享一（農産惣菜加工部）  
が異動しました。

「おんあいの店」より

毎月第4土曜日はポイント2倍!!  
2,000円以上お買上げの方は2,000  
円につきポイント2個です。

直通 TEL0979-56-2225

## お願い

ガソリン代、新聞代、ガス代等を通帳より自動引き落としされている方は、残高不足で引き落とし不能にならないようご注意ください。

## お便り募集!!

中津市耶馬溪町

大字大島二一五一四

下郷農協 農協新聞係宛

またはメールで、

kikaku-2@simogonokyou.or.jp

# 第67回 下郷農協通常総会開催のお知らせ

とき 2015年6月28日（日曜日）13時30分～  
 ところ 下郷小学校 体育館

\*2014年度事業実績の報告と、2015年度事業について組合員が方向を決定する重要な総会です。万障繰り合わせの上、ご出席をお願い致します。

## 【直通電話】 ご利用のお願い

下郷農協本所およびJA大分  
 信連下郷出張所（金融窓口）で  
 は、組合員やお客様のご用命に  
 素早くご対応させて頂くため、  
 各部門に直通電話を設置して  
 おりますので、ご利用をお願い  
 します。

### ◎購買部ふれあいの店

0979-56-2225

### ◎企画部お客様センター

0979-56-2888

### ◎食肉加工部

0979-56-2252

### ◎ひだまり

（居宅介護支援事業所）

0979-56-2765

### ※JA大分信連下郷出張所

0979-56-3010



## 読者プレゼント

クイズの正解者の中から抽選で一名、下郷農協の商品をプレゼントいたします。ふるつてご応募ください。当選者のお名前は次号で発表させていただきます。

応募締切は二〇一五年六月十日（必着）です。

① クイズのこたえ    の数字

② 住所・氏名・電話番号

③ 下郷農協へのご意見ご要望

④ 下郷農協の商品で好きなもの  
 以上をご記入の上、  
 ハガキの方は  
 〒八七一〇四三一  
 大分県中津市耶馬溪町大字大島二一  
 五一四  
 下郷農協 企画部 宛  
 Faxの方は  
 〇九九一五六二二八八九

\*個人情報他社への開示は一切しませんが当選者のみ紙面で公表させていただきます。

先月のこたえ

(A)・4 (B)・4 (C)・6

当選者

福岡市 若林佳代子 様

農協商品をお届けします。  
 おめでとうございます。

## 数独 (すうどく)

206

《数独のルール》  
 ① タテ9列、ヨコ9列のそれぞれに1から9までの数字が1つずつ入ります。  
 ② 太線で囲まれた3×3のブロック内（マスは9つ）にも1から9までの数字が1つずつ入ります。  
 ③ 従って、タテ、ヨコ、ブロック内で、同じ数字が重複して入ることはありません。

### 解答は次号で

4				6		2		
	5					<input type="text"/>		
		2		8				6
		1		9	5		8	
		2	7		3		4	
	<input type="text"/>		9			6		1
8	4			2				
				<input type="text"/>		7		
	7		9					3

### 《先月の解答》

3	<input type="text"/>	5	9	7	6	2	1	8
7	9	1	5	2	8	6	4	3
8	2	6	1	3	4	9	5	7
6	5	2	3	8	1	<input type="text"/>	7	9
4	7	8	6	5	9	1	3	2
9	1	3	7	4	2	8	6	5
1	3	9	8	6	7	5	2	4
5	6	4	2	9	3	7	8	1
2	8	7	4	1	5	3	9	<input type="text"/>